

# 復興計畫と道路



復興局長官  
道路改良會理事

堀切善次郎

今私等の關係して居る復興事業或は復興計畫といふものは、其の内容から言へば畢竟大道路計畫の譯である。幹線補助線區劃整理の道路、さういふやうな道路を大震災火災により焼けた區域に對して主として施行する事業で、復興事業とか復興計畫とか言つても、道路以外の仕事は極く僅かに過ぎないので、要するに復興計畫、復興事業といふものは、大規模な東京市及び横濱市の道路計畫と言つて差支ないのである。

市街地の家屋の建て込んで居る場所に對して、今度の復興計畫ほど大規模に道路計畫をやるといふことは、餘り他に實例の無いことのやうに見える。我國でも從來或は市區改正の事業、或は都市計畫

の事業、國道其の他道路改良の計畫といふやうな事で、各地に以前からいろいろの事業は行はれては居た譯ですが、短時日に非常に大規模にやるといふことに就ては、今吾々のやつて居る復興計畫が從來のレコードを破つて居るやうに思はれる。外國の例に就いて見ても、是れ程大規模に都會地に對して道路事業が行はれたといふことは殆んど無いらしい。曾てナポレオン三世の時に、オースマンといふ縣知事に巴里の都の大改造をさせた事がある、其の時の記録に據つて見ると、道路に潰した面積が二百七十萬平方ヤードとありますから、之れを日本の坪數に換算して見ると、約そ六十七萬坪ばかりになる、それを五億圓餘り、約十二億フランばかりの豫算を以つて、超過收用又は地帶收用の方法でやつた、さうして此の事業のために一八五一年から六九年まで、十九箇年かゝつたと書物に記されてある。是れが纏つた都會地に對する道路の事業、或は都市計畫の仕事として、既に出來上つて居る既成の都會地に對して行はれた最も大きな事業だらうと思ふ。それに比較して見ても、今度の帝都復興計畫は、東京に於いて約百二十萬坪、横濱に於いて約三十萬坪を新たに潰して、さうして此の坪數の殆んど大部分が道路の仕事に使はれるのである。ナポレオン三世の時代にオースマンの巴里でやつた仕事の倍以上の仕事だと言つて差支ない、豫算の點から言つても、帝都復興の總豫算は約八億、さうして之れを六七年の間に急いで施行せなければならぬといふ事になつて居る。故に道路の事業としても、亦都市計畫の仕事としても全く類例の無い大規模な仕事だと言つて差支ない。

例へば橋梁のやうなものにしても、耐震耐火の丈夫な橋を、僅か數年の間に數百も造り上げなければならぬといふやうな状態になつて居る。故にこれは土木事業界に取つても、亦道路の方の土木

に關係する技術並に事務の方面に關與して居る者としても、洵に千載一遇の時機と言つて差支ない。隨つて其の間にいろく、技術上又は事務上新たな經驗をして、新しい學問の應用をし、斯界に貢獻する所は決して尠くないと信じて居る。

道路敷地の獲得の方法に就いても、今度のやり方は全く是れも新記録を作つたと言つて差支ない。從來各地に於いて行はれて居るやうな該當の敷地を買収する、又収用するといふ方法計りで無く、又巴里の大改造の際にやつたやうな超過収用、又地帯収用の方法でも無く、區劃整理の方法に依つて敷地を獲得する方法を採つた。此の區劃整理の方法が大都會の附近に於いては、日本に於いても段々と行はれつゝあつた方法ではあるけれども、其の規模は從來やつたものは非常に大きいとは言へない。それから今度の帝都の復興に對してやつて居るやうに、建物が建て並んで居る都會地に對してやるといふやうな事は從來無かつた。是れは此の方法は獨逸のやり方を眞似たものゝやうであるが、能くお引合に出されるフランクフルト、アムマエンの市街、プロツラローデの市街で行はれた方法が能くお引合に出されるが、併し是等の都市に對して行はれたのも極めて、小規模で今回の東京、横濱に對してやつて居るのとは、比較にも何にもならないやうな程度のものらしい。

區劃整理の方法に依つて敷地を獲得する場合には、幹線のみならず小さな道路も非常に工合よく採ることが出来るし、それから道路を造つた後の道路添の宅地に成るべき土地の形が非常に建築に

工合が良くなる。買収をやつて道路を造つた場合には、往々にして細長い帯のやうな宅地が出来るとか、道路に向つて三角形の敷地が出来るとかいふやうな事は、區劃整理の方法に依れば全く避けることが出来る。即ち残りの宅地の利用方法としては最も良い方法になる。大體今回の吾々のやつて居る計畫に依つて見ると、是等の點に就いて非常な利益があるといふことは疑ひないし、一方に於いては土地の幾部分を無償で提供せしむることが出来る。帝都復興事業に就ては一割を無償提供にして居るが、名古屋郊外の區劃整理などでは五割までの無償提供といふやうな例もあるやうである。併し建物の建て並んで居る既成の都市に對して區劃整理をやると、建物の移轉補償金が以外に莫大な金額に上る。故に今度のやうな震災とか大火災とかいふやうな場合でなければ、此の方法に依ることは、建造物の建て並んで居る都市に對しては餘程困難であり、これが施行に就いては慎重の研究が必要なこと、のやうに思はれる。

東京市の道路は震災前には非常に面積が僅少であつた、これは獨り東京のみならず其の他の日本の大都會に於いては恐らく同じ様な状態であらうと思はれるが、市の全區域に對して道路面積の割合といふものは、震災前の東京市に於いては僅かに一割二分にしか當らない、勿論各區に依つて多少の差はあるが、少い區になると面積に對して道路の割合が一割に足りない區もある。斯ういふやうな状態であつては到底交通上の必要に應ずることが出来ないのみならず、殊に最近の交通機關たる自動車等の發達に對して、其の時世の要求に應ずることが出来ず、甚しく能率の上らない交通状態に

なつて居るといふ事は免れないことであつて、早晚何とか解決をせなければならぬ状態に立ち到つて居たものと思はれる。従來市區改正事業を引續いてやつて居たやうな小規模な道路擴張だけでは、到底時世の要求に應ずることが出来ない状態に行詰つて居たといふ事は極めて明瞭の事のやうに思はれる。然るに復興計畫に依つて此の計畫が完成すれば、燒失區域内に於いては道路の全區域に對する割合が約二割七分になる、是れ位の割合になれば未だ十分とは言ひ難いが、大都會として最近の交通機關の發達に對しても相當工合よく能率の上がる交通状態になり得るだらうと思ふ。外國の都會の例に依つて見ても、巴里、柏林あたりは大體此の程度のやうであり、紐育は確か三割四分、華盛頓は五割四分といふやうな道路面積を有つて居る例もあるが、三割前後あれば先づく相當だといふ議論が多い、故に二割七分になるといふのは、先づ此の程度で當分差支ないと言つて宜からうと思ふ。新たに道路の擴張計畫をするとか、いふ場合に都會地に於いてはやはり三割前後の所を標準にするといふ事が必要と思はれる。

道路の系統に就いては、今度の復興計畫で、主として燒けた方に對してやつて居る部分は、東京に於いては大體所謂碁盤目式に依つて居る、それは從來の道路の系統が所謂下町方面に對しては、碁盤目式から斯ういふ系統になつて居るから、やはり前の状態を出来るだけ尊重して斯ういふ計畫になつたものと思はれる。其の碁盤目式は最早や今日に於いては理論としては最上の計畫では無いといふことになつて居る、此の式は亞米利加あたりの都市に其の實例は澤山あるが、今日に於いては良い計

畫ではないといふことになつて居るが、併し東京市のやうな既に出來上つて居る都市に對しては、假令これが大地震火災に依つて家屋は皆な焼けてしまつたとは言ひながら、從來の道路系統を捨て、野原に道路をつけるやうな風に計畫をすといふことは、到底不可能の事で、出來るだけ従前の交通状態を考慮しなければならぬ譯で、それに準據して大體やはり従前と同じ様な稍や不規則な碁盤目式にやつたのは止むを得ない事だらうと思ふ。

復興計畫の道路の造り方に就いては、今度の計畫は今日から批評すれば、餘り餘裕の無い計畫とも謂へる。所どころに裝飾的のことを考へるとか、廣場のやうなことを考へて裝飾物を其處に置くとか、或は公園式の道路を造つて、非常に立派な道路を造るといふやうな事は全く考へる餘地が無かつたやうである。經濟上、豫算等の關係から止むを得なかつたことと思はれる。隨つて道路の最も幅の廣いものは四十間の道路が例外として一部分にあるが、大體は所謂一號線及び横町線の二十四間幅のものが一番廣いことになつて居る。尤も其の中央には植樹地帯を置くといふ計畫で、今工事を進めて居るが、其の實は路面舗裝費が十分でない爲めに、之れを儉約する一つの方法に過ぎない。交通が頻繁になつて來た場合には、植樹地帯を車道にして直ぐに舗裝し得るやうな風にうまく計畫して居る譯である。道路廣場のやうなものも、廣場らしい廣場は殆んど無い。上野停車場前とか、和泉橋の袂、淺草橋の袂等に一寸した廣場が出來るものである。

又道路の交叉に就いても、成るべく三線以上を一箇所に交叉することを避けて、随つて廣場等も設けないで濟むやうな風に計畫されたやうである。故に道路の系統としては専ら實用的であつて、裝飾的の考案は餘り加へられて居なかつたのは、豫算の關係上止むを得ないと思ふ。

都會の道路として最も重大なる問題は、今日に於いては路面舗装の問題だと思ふ。復興計畫に於いても幹線道路の一部を舗装する計畫にして、約千八百萬圓の舗装費豫算を當初積算して置いたのだが、區劃整理に基く家屋移轉費が莫大な不足を來した爲めに、此の舗装豫算の半ば以上は其の方に流用しなくてはならないやうな結果に立ち至つて、思ふ程に舗装に手が伸びないといふことを眞に残念に思ふ。併し今後豫算の關係上出来るだけ舗装費を繰戻すことにして、他の部分に就いても豫算の餘裕が出来れば舗装の面積を出来るだけ廣くしたいと考へて居る。

舗装の方法に於いては、いろいろな試験をやつて見た結果、これからやる舗装に就いては、大體アスファルト類のもの、コンクリート類のものとの二種にして、坂道は小鋪石でやるといふやうな方針に落着いて、歩道の方はコンクリートブロックか或はアスファルトでやるといふ事になつた。私は技術の方面の事は餘り精しくないが、從來よく行はれたやうな木塊の舗装類は割合に金がかゝるし、成るべく丈夫でさうして廉價（廉）の方法に依るやうにしたいと思つて居る。東京市のやうな都會で車馬の交通甚しく頻繁な幹線道路に於いては、所謂高級舗装に依る外はないので、是れが爲めどうし

ても一坪當り二十四五圓以上を必要とする、元來我國のやうな經濟狀態の國では、成るべく廉價く仕事を仕揚げて欲しいと思ふが、今日の狀態に於いては是れ位な程度より外に仕方が無いらしい。併し何とかして丈夫でさうしてモット經濟的に廉價く出来る舗装の方法が發明されないものかと思ふ。それ等の點に就いては將來技術者諸君の十分の研究を願ひたい。

簡易舗装は復興局でやつて居るものに就いては、車道の中央の、何れその内電車軌道を敷く部分に對して假りの舗装として簡易舗装を所どころやつて見た所もあり、今後もそれを幾部分やつて行くことになつて居るが、どうも幹線道路であつては、餘りに車馬の交通が頻繁である爲め耐久たうじうはしないで直ぐ壞はされ易いやうな狀態になつて居る。幹線道路でない補助線の一部分とか、或は區劃整理の道路とかいふやうな餘り交通の頻繁でない道路に對しても、大都會地に於いては一日も早く全部の舗装をしたいものだと思ふ、今復興局の方ではそれをやるだけの計畫も無し、豫算も到底有る筈はない、市の當局者としては、獨り東京ばかりではないと思ふが、道路の等級に應じ交通狀態を參酌して、成るべく簡易な成るべく廉價い舗装を以つて一日も早く全面積の舗装をするやうにして欲しい。東京市の土木局でいろいろ調査研究もされて、之れを實地に行つて居る場所も見えて來たやうだが、是等は是非何等かの方法を以つて、或は受益者に負擔せしめて少しも差支ない事柄であるから、成るべくさういふ財政關係の方面も其の方法を考へて、早く全市に行渡るやうにしたいと思ふ。

更に又「道路が出来た」或は「復興が出来た」と言つても、路面が砂利敷でその儘であつては、吾々として



も大都會の道路らしく感じないし、又恐らく外國人や何かの眼では路面が砂利道の儘であつては、それを以つて道路が出来上つたものとは思はないだらうと考へる、外國人等は道路の舗装が出来て居る、或は出来て居ないといふ事が、何よりも先に眼に着くだらうと思ふ。さうして日々吾々は是れが爲めに非常な不便と不愉快と不衛生を堪えて行かなければならないやうな状態に在ることは非常に苦痛である、どうか大都會に於いては一日も早く全面積を舗装するやうな財政的の方面も研究を重ね技術的にも廉價くて丈夫な舗装の出来得るやうに研究を進められんことを希望する。軌近道路改良會の方でも、簡易舗装の方法に就いて調査研究をされて、其の結論を發表されて居るやうに、速に各方面で實行の盛んならんことを熱望する。

吾々の従事して居る道路の問題としては、震災に依つて焼けた方の區域を主に仕事をして居るが、其の區域は今言つたやうに道路の面積も相當になり、當分の間は交通機關の發達に對しても支障なく行けると思はれるが、尙ほ爰に東京市の問題としては前述の舗装を徹底させるといふ問題の外に所謂山の手方面の焼けなかつた區域に對しての道路の問題が残つて居る譯である。これは前に述べたやうに道路の面積が恐ろしく少くて、到底今日の經濟状態、交通状態に應ずることが出来ない、やはり道路を擴げ、又新たに道路を造つて行くことは自然的の必要になつて居る。是れも一日も早く着手されて、一日も早く一通り完成することを希望して熈まない。

山の手方面の道路の計畫は、大體所謂蜘蛛の巢形の系統になつて居る、それは地勢の關係と郊外との聯絡、江戸城壕等の關係から、震災で燒けた下町の方の碁盤形の道路系統とは自然趣きが違つて居る、極く大體から觀察すれば、即ち不規則な蜘蛛の巢形、放射線と環狀線との組合せに依つて出來て居り、又將來造らるべきものゝやうになつて居る、この區域に就いては先年一應道路計畫の決議つたものはあるが、これは未だ十分なものではない、未だそれでは足らない、それで今相當良い計畫を附け加へやうと思つて、目下頻りに調査して居る。

それから郊外の道路、これも當局者の道路の計畫、道路事業を實施するよりも、國民の方の發展力の方が強くて、非常な勢ひで郊外地に發展し、それに伴つて道路系統、交通關係は、目下滅茶苦茶な状態に陥れられて居る、其の道路系統はやはり蜘蛛の巢形の式に依つて、昭和二年に郊外地道路網計畫なるものを決議した。併し財政關係のために、計畫だけで實行されて居る部分は極めて僅かに過ぎないことは誠に遺憾に堪えぬ、是れも何等かの方法に依つて段々と完成して行くことを希望して熾まな

い次第である。(完)